



2026年9月11日

各位

会社名 株式会社 A C C E S S
代表者名 代表取締役 社長執行役員 吉岡 勉
(コード番号 4813 東証プライム)
問合せ先 取締役専務執行役員 CFO 夏海 龍司
(TEL. 03 - 6853 - 9088)

2027年1月期中間連結会計期間の業績予想値と

実績値との差異に関するお知らせ

2026年3月17日に公表しました2027年1月期中間連結会計期間(2026年2月1日～2026年7月31日)の業績予想値と実績値との間に差異が生じることとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異

(2026年2月1日～2026年7月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想 (A)	10,800	△300	△280	△385	△10.28
今回実績 (B)	10,578	△779	△534	△588	△15.68
増減額 (B-A)	△221	△479	△254	△203	—
増減率 (%)	△2.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2026年1月期 中間連結会計期間)	9,055	△1,989	△2,252	△2,718	△72.25

当中間連結会計期間においては、各事業ともに総じて当初想定の範囲内で進捗したものの、IoT事業において一部案件の費用を保守的に見積計上したことや、ネットワーク事業において、当中間連結会計期間での売上計上を予定していた一部ライセンス案件の会計処理が下期へ変更されたこと等により、連結売上高及び営業損益が当初計画を下回ることとなりました。他方で、本日付「為替差益(営業外収益)の計上に関するお知らせ」のとおり、当中間連結会計期間において為替差益を計192百万円計上したことから、経常損益及び親会社株主に帰属する中間純損益については、営業損益と比べて当初計画からの減少幅が縮小いたしました。

2. 通期業績に与える影響

前述のネットワーク事業におけるライセンス案件の会計処理は下期に行われることを見込んでいることから、2027年1月期の通期連結業績予想数値につきましては、2026年3月17日に公表しました業績予想数値を据え置くことといたします。

以上